

屋久島生態系モニタリング

屋久島北部の植生垂直分布調査(平成 22 年度)

●標高 900 ㍎プロット

比較的傾斜の緩い箇所に設定。スギ若齢林で、樹高 22 ㍎、胸高直径 200.6 ㍎のスギ大径木(天然下種更新時の母樹)が保残されている。プロット内外にはスギの伐株が数多く見られる。局所地形は凹型斜面で、平均傾斜は 10°、平均斜面方位は北西向き、標高 915 ～ 925 ㍎の範囲。

[高木層]スギが優占し・ユズリハ・イヌガシ・エゴノキ・ナナカマド・アカガシが混生。[亜高木層]シキミ・ユズリハ・スギ・イヌガシ・ウラジロガシが多く、ヒメシヤラ・マテバシイ・ナナカマド・ハイノキなどが混生。個体数は少ないがタンナサワフタギ・リョウブ・ヤマボウシ・モクレイシ・クロバイなども生育。[低木層]サクラツツジ・ハイノキが多く、ついでシキミ・ヒサカキ・サカキも多い。他にヒメシヤラ・イヌガシ・ウラジロガシ・サザンカ・ミヤマシキミ。個体数は少ないがスギ・マテバシイ・ナナカマド・アカガシ・タンナサワフタギ・ヒメヒサカキ・トカライスツゲ・ヤマグルマが生育。[草本層]ハイノキが多く、サクラツツジ・ヒサカキ・ウラジロガシ・サザンカ・ヒメハシゴシダなどが生育し、個体数は少ないがスギ・クロバイ・チャボシライソウ・オオゴカヨウオウレンなども出現。所々にスギの伐株が残っており、シキミ・サクラツツジ・ハイノキ・ナナカマド・スギ(幼木)・ミヤマシキミ(株立ち)・ソコゴ・イヌガシ・オオゴカヨウオウレンが着生。【特徴】天然下種更新で育ったスギ人工林(育成天然林)で、母樹(天然スギ)も見られるスギ・ハイノキ群集。亜高木層や低木層にはヒメシヤラ・ナナカマド・ヤマボウシ・タンナサワフタギ・ヤマグルマ等の天然スギ林を代表する樹種が多く見られる。【5年前との比較】高木層のスギの生育に伴い、亜高木層や低木層の被圧枯死が見られ始めたが、シキミやユズリハの生育が旺盛。低木・草本層はヤクシカの不嗜好種が目立っている。

平成 26 年 3 月 28 日、九州森林管理局長と屋久島永田地域の森林所有者との間に、平成 26 年 4 月 1 日から 3 力年の「屋久島永田地域公益的機能維持増進協定」を締結しました。

本協定は、世界自然遺産地域に隣接している区域で、国有林および民有林内に繁茂している外来樹種の駆除を一体的に実施することにより、森林の公益的機能の維持

増進および自然遺産地域などの保全を図ることを目的に、平成 24 年 6 月に創設され、平成 25 年度から新たに取組んだもの。今回、当制度に基づき屋久島町永田地域の民有林所有者 2 人と協定を締結し、外来樹種であるアブラギリの駆除を実施するもの。調印式において、局長代理として屋久島森林管理署長が「今回、森林所有者の方に

公益的機能維持増進協定を締結 民・国連携し森林の公益的機能増進に努める

は、屋久島の森林整備や森林施業等についてご理解ご協力をいただき感謝しています。」とあいさつ。協定締結に至るまでの経緯や施業方法などについて説明を行いました。

屋久島森林管理署では、本協定および森林整備協定等を含めた民・国連携による森林整備などを通じて、今後も屋久島地域の森林・林業の再生に一層取り組んでいくこととしています。

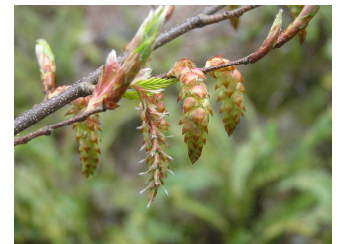


協定書に調印する森林所有者及び局署

縄文杉デッキの現地検討会を実施

縄文杉の北側デッキの解体撤去工事の終了に伴い、代替デッキの設置について、現地検討会が 3 月 26 日に開催されました。

屋久島の植物



アカシデ
 (カバノキ科)

北海道以南に分布し屋久島を南限とする落葉高木。屋久島では標高 400 ～ 1000 ㍎付近で見られる。葉の展開と同時に開花する。シテ(垂・四手)は玉串注連縄などに垂れ下げる紙製のもの。これが花穂に似ることから。花期 4 ～ 5 月。



仰ぎ見る縄文杉

現地検討会には、林野庁をはじめ、環境省、鹿児島県、屋久島町、屋久島町議会、屋久島観光協会から 17 人が参加しました。

北側デッキの解体・撤去により、登山道から縄文杉を仰ぎ見ることができ、昔の景観がよみがえり、当日も多くの登山客がその容姿をしきりにカメラに収めていました。

撮影ポイントで現地検討会は始められ、代替デッキの位置や高さについて参加者からさまざまな意見が出されました。



現地での検討

今回の現地検討会を踏まえ、環境省では代替デッキの調査設計を開始することとしています。

また、今回は北側デッキの撤去に伴う代替デッキの検討が主な目的でしたが、将来を見据えて南側デッキの撤去も含めた新たな歩道整備についても多くの意見が出されました。

平成 26 年度 業務予定

屋久島森林生態系保全センター

1 森林生態系保護

(1) 地域連携推進等対策

- ① 天然性林管理水準確保（森林保護員（非常勤職員）による巡視等） G S S
 - ・ 森林保護員の雇用によるきめ細かな保護管理等
 - ・ 入込利用者への指導・啓発
- ② 縄文杉木製デッキの撤去、資材搬出等
 - ・ 北側デッキ解体資材の搬出及び南側デッキの解体、撤去

(2) 保護林等整備・保全対策（世界遺産保全（登録地域・暫定地域保全））

- ① 屋久杉の樹勢回復措置（縄文杉ほか著名杉）
- ② 生態系モニタリング調査（垂直分布調査ほか）
- ③ 外来種アブラギリ、カシノナガキクイムシ被害状況モニタリング
- ④ マツクイムシ被害状況調査（署・センター・森林総合研究所）

(3) 気象モニタリング

- 雨量、気温観測

(4) その他

- ① 森林生態系地域等の森林パトロールの実施
- ② 縄文杉 WEB カメラの管理（保守）
- ③ 縄文杉歩道及び縄文杉デッキのあり方検討
- ④ シカ対策関連業務、局委託調査協力、有害鳥獣捕獲等

2 普及教育及び森林空間総合利用等

- ① 森林教育等の実施（他機関等との連携・協力）
- ② 自然休養林内等での指導・パトロールの実施
- ③ 屋久島レクリエーションの森保護管理協議会等への助言・指導
- ④ シカ柵の保護管理等

3 その他

- ① 関係機関との連絡調整
- ② 学術調査研究等に係る入林手続きの接受及び指導等
- ③ 広報紙「洋上アルプス」の発行及び年報の作成
- ④ ホームページの更新
- ⑤ 資料の整備・拡充

ク リ ー ン 活 動

3月11日、屋久島森林管理署および当センター職員25人の参加のもと、クリーン活動を行いました。森林管理署周辺並びに安房郵便局前の防風林などの国有林内に不法投棄されたゴミの回収に汗を流しました。投棄されたゴミは一般家庭ゴミから、自転車、古タイヤ、空き缶、ビン類など、さまざま。軽トラック5台分のにばりました。

今後、この活動を通して不法投棄の防止力になればと期待しています。



軽トラック5台分のゴミ

屋久島森林生態系保全 センター 人の動き

4月1日付転入
○ 専門官

竹部 浩一郎（長崎森林管理署 主任森林整備官）

4月1日付転出

○ 北薩森林管理署 主任森林整備官
小薄 政弘（専門官）